

分倍河原駅周辺まちづくり協議会 第21回全体会議事録

- 1 日 時：令和6年3月15日（金）午後6時30分～8時20分
- 2 場 所：片町文化センター3階講堂
- 3 出席者：浅野副市長
まちづくり拠点整備推進本部 分倍河原駅周辺整備担当 職員6名
総務管理部 財産活用課 職員 1名
分倍河原共栄会 5名
片町二丁目自治会 1名
美好町三丁目自治会 3名
分梅第一自治会 2名
野村不動産コマース株式会社 1名
野村不動産株式会社 1名
株式会社首都圏総合計画研究所（コンサルタント） 3名
- 4 資 料：分倍河原駅周辺まちづくり協議会第20回全体会議事録
資料1「報告1：分倍河原駅周辺地区におけるまちづくりの進捗状況について」
資料2「議題1：にぎわいづくりと今後の検討体制について」
資料3「分倍河原駅周辺地区における令和6年度以降の組織体制」

5 内 容

（○：出席者からの意見・質問、→：意見への回答等）

- 残念なお話をお伝えする。長らく協議会で活躍されていた片町三丁目自治会の会長が先日前お亡くなりになった。三丁目の自治会長は地区の東側の道路について非常に建設的な意見をお出しになっていた。今後は新しい会長にもまちづくり協議会に貢献していただきたいと思っている。
今回の協議会は今年度の最終回となっている。今年度の協議会では、市より、溜まり空間における整備の考え方を中心に、3回に渡り詳細な説明がされた。まちづくり協議会の組織としては、市と意見交換を重ね、駅周辺整備の考え方について納得することができたため、引き続き市が基本設計を進めることについて、まちづくり協議会として後押しすることとした。一方、今後はまちのにぎわいづくりについて、本格的に検討していかなくてはならないという課題も出された。今回、議題1として市（コンサルタント）から、来年度以降のにぎわいの検討体制について提案がなされる。本日は、前回に引き続き副市長に出席していただいた。（会長）
- 前回までの協議会にて、駅前の溜まり空間、東西・南北自由通路などのハード部分について説明をさせていただいた。基本設計というのは、対外的に協議をするための図面を作成することである。協議会で議論いただいたことも参考にして基本設計を進めており、設計が更に進んだ段階でまた、皆様にご説明し、ご意見をいただきたいと思う。そのハード部分の設計が進んでいる中で、いよいよ並行して、ソフト面と呼ばれる「まちのにぎわい」について真剣に話し合っていくべき時期が来たのではないかと思う。やはりま

ちづくりというのは10年20年かかって進めるもので、どんどん世代が変わってきてしまう。そのため現状を把握することも大切だが、10年あるいは30年先のことを考えて、次の世代の方々にとって、より良い暮らし、より良いまちができるようにという視点も入れて、ソフト部分について考えていただけたらと思う。今後のまちのにぎわいについて皆様にご議論いただき、市としても最大限協力していきたい。（副市長）

（1）まちづくりの進捗状況について

- ・事務局から、資料1に基づき「まちづくりの進捗状況について」の説明を行った。
- 資料の中に東西自由通路に接する西側の溜まり空間があったが、そこに自転車置場ができるのかお聞きしたい。私は、西側住宅街からミナノに買物に行く時に自転車を使って行くのだが、東西自由通路は自転車が通れないという説明があったので、遠回りになってしまうと思っている。同様に、乳母車や電動自転車についてもどうなるのか関心がある。また、先ほど市の説明において、溜まり空間の階段とスロープについて「ご理解いただけたものと思っております」との説明があったが、階段やスロープのあり方と、駅前の溜まり空間と周辺の建物との関係、都市計画的な道路なのかどうかということ、用途地域はどうかという疑問点が残っているため、私は納得していないことを表明しておきたい。（美好町三丁目自治会）
- 最初の質問は、自転車利用者における地区西側から地区東側への移動についてである。次の話は、個人の意見ということでよろしいか。（会長）
 - 私の意見である。（美好町三丁目自治会）
- 会議冒頭に私からも申し上げたように、溜まり空間における整備の考え方については、今年度の協議会を踏まえ、まちづくり協議会全体として合意し、後押しすると申しあげた。これは、個人ではなく皆さんの意見をまとめたうえで申しあげたつもりだ。（会長）
 - 西側の溜まり空間については、今年度1回目の協議会において様々なご意見をいただいております。どのようになるかは検討中で決まっていない。現在の自転車の考え方については、東西自由通路については、今まで説明してきている通り自転車は通さない。歩行者中心のまちづくりを進める上で、にぎわい軸と称している商店街から駅南側商業施設までの歩行者動線については、自転車の押し歩きを検討することとしている。一方、駅周辺の道路の改良整備は、歩行者だけでなく、自転車を通りやすくするためにも進めているものであり、自転車に乗っていくのであれば、外周道路を通過していただくことが、地区を一番安全に通行できるのではないかと考えている。二点目のご意見については、これに限らず今後も様々な課題が出てくると思うので、適宜ご意見いただきながら進めていきたいと考えている。（市）
- 高安寺西側の4-139号線を拡幅するという話が進んでいるが、南北の範囲について説明していただきたい。また、高安寺の森になっているところを広場にしたいという提案を、高安寺から市の方にしていると聞いている。具体的にこういう方向で進んでいるということがあれば説明していただきたい。（片町二丁目自治会）
 - 4-139号線については旧甲州街道から南武線における線路を少し越えたあたりまでを

拡幅する予定である。鉄道の踏切をまたぐため、JRとの協議も入っていることから、多少お時間をいただくことになるが、範囲としては南のかえで通りまでと考えている。二点目の広場については、個別な話になるが、色々な方策が考えられる。市がそもそもやるべきなのかという点も含めて高安寺と一緒に考えていきたいが、今のところ明言できるものはない。(市)

○ 現在は歩道が両側についているが、どちらもすごく狭い。幅員によっては、片側だけに歩道をきっちりと担保した方が良い場合もある。高安寺からすると保育園の園児が東側の方を歩いていくため、そちらを優先したいという思いもあるのかもしれないが、高安寺側だけ広げても事故が起きる可能性もでてくる。死亡事故も実際に起きているため、しっかりと方向を決めていかないといけない。(片町二丁目自治会)

→ 福祉のまちづくり条例に基づき、電柱などを除いて、原則、有効幅員2mを確保できるように設計を進めている。具体的には、歩道を含めて現状幅員7.5mの道路を12mに拡幅するが、12mのうち両側2.5mの歩道と7mの車道という形で拡幅する予定である。(市)

○ 2.5mというのは最小限で必要な幅なのか。(会長)

→ 歩道の有効幅員を2m確保することが福祉のまちづくり条例で定められている。考え方としては、車椅子の方がすれ違えるよう2mとなっているが、2.5mあれば横断防止柵や電柱を0.5mの間に設置して、有効幅員2mも確保できると考えている。(市)

○ 商店街にて自転車の押し歩きの話があったが、この近辺でそのような施策をとっている場所があったら教えてほしい。見に行きたいと思う。東西自由通路については自転車の通行ができないという話になっているが、それでは不自由な通路になりかねないので何とかならないのかと思っている。(美好町三丁目自治会)

→ 商店街にて自転車の押し歩きをしている事例は調べなくてはいいけないが、調布駅で駅前広場等の整備が進んでおり、自転車は押し歩きする空間ということで整備されている。現在、商店街などの繁華街に乗り入れる自転車については、押し歩きを推奨する取組みが進んでいる。事例については、改めて紹介できればと思う。(コンサルタント)

→ 基本的には皆様の提案書からいただいているように「歩行者中心のまち」をキーワードにして整備を進めていきたい。周辺道路で自転車の走行空間を確保していきたいと考えている。(市)

→ 東西自由通路は自転車が通行できないため使いづらいと指摘されることは理解している。ただ、今回のまちのテーマである「歩行者中心」に視点を置いた場合、安全性の向上や使い勝手の良さという面から見ると、例えば、エスカレーターが上下につくことで利便性は高いと考えている。府中駅でもエスカレーターは上下についていない。また、出来る限り自転車を通さないことで、よりエレベーターも設置され、車椅子の方やベビーカーの方も含め、歩行者にとっては安全な利用環境になる。(市)

○ 商店街で、現在一日何人くらいが通行し、完成した段階では何人くらい通る予定といったシミュレーションはあるのか。(美好町三丁目自治会)

→ 歩行者、自転車の交通量については平成29年に大規模な調査を行い、昨年5月に同じポイントで交通量調査を実施しており、この5年間の自転車・歩行者の交通量の推移に

関するデータはある。シミュレーションは考え方にもよるが、例えば踏切が閉鎖された場合、現在踏切を通行している歩行者や自転車の交通量が、仮定した迂回導線では交通量がこの程度になるのではないかというシミュレーションは可能だと思う。なお、現在の自転車の交通量は、歩行者に比べれば圧倒的に少ないのが実態である。(コンサルタント)

(2) にぎわいづくりと今後の検討体制について

- ・コンサルタントから、資料2・3に基づき「にぎわいづくりと今後の検討体制について」の説明・提案を行った。

- 私と副会長は都市・地域交通戦略推進協議会に毎回出席しているが、鉄道事業者にとっても乗降客数が減るということは黄色信号が灯る状況であり、地元のにぎわいづくりに非常に期待していると感じている。今後のまちのにぎわいづくりに関する検討の必要性については、まちづくり協議会と交通戦略推進協議会においても一致しているのではないかと思う。次回の協議会では、交通戦略推進協議会で議論されていることをフィードバックできたら良いと思う。(会長)
- にぎわい検討部会についてももう少し詳しく説明してほしい。(会長)
→ 現在、商店街の関係権利者と歩きやすいまちづくりに向けた長期的なルールづくりに関する議論を行っている。我々が提案している「にぎわい検討部会」では、商店街活動としてこのようなことを実施できたらよいのではないかといった検討や基盤整備が進んだときに公共空間をどのように使っていくかなどについても検討をしたら良いのではないかと考えている。具体的な検討内容は皆様の意向を聞きながら整理していければと思う。(コンサルタント)
- にぎわい検討部会と商店会との大きな違いは何か。(会長)
→ にぎわい検討部会は、ミナノさんなども含めて、まち全体として、それぞれの特徴を生かしながらどのような取り組みをしていけばよいのかを議論をしていく母体になると考えている。(コンサルタント)
- 昨年5月の例大祭の時に、府中駅周辺に人が集まって商店街が非常に潤ったという話を商工会議所の方から聞いた。分倍河原駅前においても、例大祭の時に、商店会とミナノさんがタッグを組んで、子供神輿を商店街の中やミナノさんの中に入れるなどの取り組みができれば、人の流れが大きく変わるのではないか。今までの例大祭では、高安寺の西側を通過して、第三小学校の周囲を廻って戻っていくので、神輿が西側のミナノさんの方までは来なかった。その辺の往来ができてくると大分人通りが変わってくると思う。また、昨日イトーヨーカドーさんが首都圏の4~5店舗を閉めるというニュースを耳にした。そのニュースを聞いて、ミナノさんがオープンしてからこれまでの集客率がどのようになっているのかについても関心がある。(片町二丁目自治会)
→ ミナノの運営を管理している野村不動産コマースと申します。野村不動産グループとしても地域共生を掲げているので、商店会とミナノで何かできたら良いと思う。所有者にもそのように伝えて、進めていけたらと思っている。また、先ほどイトーヨーカドー

さんの件に関連した質問をいただいたが、ミナノは地域密着型の施設で1 km 圏内から来店される方が多い。売り上げも今月は昨対比 110%で年々伸びており、これからも地域に愛される商業施設を目指していきたいと思っている。(野村不動産コマース)

○ 駅前では、けやき並木やスカイナードを貸し出して地域を活性化するというをやっているようだ。にぎわい検討部会について他にご意見はあるか。(会長)

→ 商店街の入口に照明がついたアーチがあるが、前商店会長から頼まれて私がデザインをした。その際、山車が通る高さを想定して設計している。新しい溜まり空間に例大祭の時に山車が来て一定時間そこでやるというのも良いと思う。それから、商店街の真ん中に例えばフリースペースを作って、現在公会堂等で行っているお囃子の練習をやるに関心を持たれると思う。また、寺子屋や子ども食堂など、すでに行われている取組みだけでなく、商店会が教会やミナノさん、いなげやさんとタイアップした企画ができると良いと思う。(美好町三丁目自治会)

→ 大変参考になる意見だと思う。にぎわい検討部会については、外部の違う視点を持っている方を部会に入れても良いと思う。(会長)

○ にぎわい検討部会については、大いに賛成であるが、ハード整備とソフト面の取組みは反映関係にあると考えている。例えば駅周辺では駅前の溜まり空間の整備により約30店舗が無くなるので、どこかに収容できないか。それから壁面後退、自転車の置き方、押し歩きの問題なども、ハード面も意識しながらにぎわい部会で議論をするべきである。ソフト面だけの議論に特化するのには注意すべきである。(美好町三丁目自治会)

→ 私もその通りだと思う。ソフトとハード両輪で考えていく必要があると考えている。(会長)

○ にぎわい検討部会を設立することに対して反対の方がいたらご意見をお願いしたい。問題なければ、副会長である商店会長と私で、もう少し練って、来年度の発足を目指したい。(会長)

→ 分倍河原商店街の特徴は地縁のテナントさんが非常に頑張っていることだ。できればそのような方、若い方も参加いただけるように体制を強化することができればよいと思う。地域のお祭りなどの地域資源をいかしたにぎわいづくりなどを検討するために、商店会を取り巻くにぎわいづくりの推進体制を構築できれば良いと考えている。(コンサルタント)

→ 同じような問題を抱えている地域は他にもあり、問題を克服した地域も相当あると思う。例えば下北沢など外部の成功した事例を学び、情報収集することもできるのではないか。(会長)

○ にぎわいというと商店会が中心になると思う。世代交代の話もあったように、商店会長の私が中心になってやっていくことは年齢的に難しいが、会を立ち上げることは賛成である。(副会長)

○ では、来年度より「にぎわい検討部会」を開催させていただき、内容や構成等については、副会長や関係者ともう少し練って、皆様に再度報告するという形でよろしいか。(会長)

<意見・質問無し>

- 本日、野村不動産コマースさんからも貴重なお話をいただくことができた。本日出された意見をもとに、にぎわい検討部会の構成員、オブザーバーや組織体のあり方について検討し、改めて皆様にお話しできればと思っている。（市）
- にぎわい検討部会についてピンときてない人もいらっしゃると思うが、まずは現状分析をして、例えばミナノさんや商店街に何が足りないか、お互いにどのようなお店を持ってきた方がいいか、また、協議会の方からご指摘いただいたように、ハード整備とソフト面の取組みの連携は必ず必要になる。私の所管には生活環境部もあるので、産業振興課あるいは商工会議所を通じて、商店街活性化も考えていくことができると思う。皆様から、このような補助金があると良いという提案があればそれをつないでいく役割を市が担うことができる。イベントの話だけでなく、商店街にどんなお店がきたらよいか、また用地取得の関係で出ていかななくてはならない人が商店街の一画に残っていただける、ここで商売したいという方がいたときに誘致できるようなことを含めて考えていけたらと思う。商店街とミナノさんで共存していくことができれば、人通りの多い所なので良いまちが出来ると思う。そのために市の施策をぜひ使っていただきたい。にぎわい検討部会を立ち上げて、商店会やテナントの方の意見を聞くなど、成功したまちの方の話を聞いて勉強する場にしていただけたらよいと考えている。（副市長）
- 駅前の整備において、現在の駐輪場は作業ヤードとして利用するとのことだったと思うが、整備後は、現在の駐輪場をどのようにしていくのか、片町公園も含めて説明してほしい。（片町二丁目自治会）
 - 駐輪場の跡地利用については、公有地として市が使用するか、地域活性化のために民間に売却することなどが考えられるが、工事が終わるのは10年後になるため、その間に市の財産活用課でしかるべきタイミングで検討をしていく。（市）
 - 片町公園については、南側駅前広場と一体的に考える必要があるが、現在のロータリ一部分の植栽は道路上にあり、公園とは用途が異なる。そこをどのように連続性を保っていくのか、どう利便性を向上させるかなどについて、市の公園緑地課と連携しながら探っていく。（市）
- 片町公園には、花壇があったり、道路際が一段高くなっていたりして使い勝手が悪い。ここをフラットにして、公園でもいろいろなイベントができるような空間づくりをしたほうが良い。北側の駅前だけ整備されても、南側では公園が一角だけぽつんと浮いているような空間になっているので、にぎわい軸の流れが途切れているように感じる。（片町二丁目自治会）
 - そのような考え方は私も大切だと考えている。市としては公園として維持する考えである。しかし、今のままではいけないので、公園の改良をまちづくり基本計画の一つの施策としてあげている。これから、どのような形にしていくか皆様のご意見を参考にしながら検討していく。ぜひ今のようなご意見をいただきたい。（本部長）
- 南北のつながりに関するアイデアが沢山出ると思うので、にぎわい検討部会でディスカッションする材料の一つになる。（会長）
- 本日は地域とのつながりの必要性や空間の活用の仕方、ミナノさんの地域共生のお考

えなど様々なご意見をいただきありがとうございました。ハードとソフト両輪で進めていくべきだという考えが出されたが、この考え方は「都市・地域交通戦略推進協議会」でもキーワードとして出ており、市としても共有できている考え方だと認識している。にぎわい検討部会ができるとう新しい意見も出てくると思う。新しいことを検討することはなかなか難しいところだが、その中で市をぜひ使っていただきたい。まちづくり拠点整備推進本部はハードの部署だが、産業振興課などのソフトの部署も使っていただくことも今後展開できればと思っている。これからの新しい分倍河原駅周辺のまちづくりに向けて動く環境が整ってきたのではないかと改めて感じた。今後部会を開いて、様々な検討をし、ハードとソフトを連携させて議論していくには、市だけではなくまちづくり協議会の皆様のご協力が不可欠である。今後ともご理解、ご協力のほどよろしくお願ひします。（本部長）